

事務事業名		子育て応援事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	子ども部
総合計画体系	基本政策	1	未来のふるさとを担う子どもたちを育むまちづくり	課・室	子育て課
	政策	02	子育て支援の推進	係	子ども支援係
	施策	01	子育て支援策の充実	内線電話	356
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	3款	民生費	計上	
	項	2項	児童福祉費	実施期間	
	目	1目	児童福祉総務費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	出産を控えている家庭及び子育て中の家庭	育児の援助不安等の解消や経済的負担の軽減を図り子育てを応援する。	
	子育ての援助が必要な家庭	育児の援助が必要な人と育児の援助ができる人を結ぶ相互援助活動の橋渡しを行い、緊急時における育児の不安を解消する。	
現状・課題	出産・子育てに対する不安解消のために、情報提供の充実が求められている。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市子ども・子育て支援事業計画	
事務事業概要	子育て応援ガイド・育男（イクメン）手帳の配布、子育て用品（ごみ袋）の支給、ながの子育て家庭優待パスポート（県共同実施）の配布、ファミリーサポートセンターの運営。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	子育て用品（市指定可燃ごみ袋）の支給		46000枚
	ながの子育て家庭優待パスポートの配布		配布見込数300組
	子育てガイドブック・育メン手帳の配布		配布見込数450部
	ファミリーサポート提供会員養成講座		3回

事務イン 事業プ ット R2は予算額	項目	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算	円	1,867,000	2,201,000
補正・流用等		円	17,000	826,000	—
合計		円	1,884,000	3,027,000	2,896,000
決算（見込）額 A		円	1,669,231	3,027,000	—
財源内訳	国庫支出金	円		78,000	225,000
	県支出金	円		78,000	225,000
	市債	円			
	その他特定財源	円			200,000
R2は予算額 一般財源		円	1,669,231	2,871,000	2,246,000
正規職員数		人	0.76	0.70	0.70
人件費 B		円	4,889,840	4,509,400	4,509,400
総事業費 A+B		円	6,559,071	7,536,400	7,405,400
市民1人当たりコスト		円	153	177	175

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
子育て用品の支給		維持	目標	100.0	%	100.0	%	100.0	%
			成果	100.0	%	100.0	%	—	
ファミリーサポート提供会員養成講座の開催回数		維持	目標		回		回	3	回
			成果		回		回	—	
成果指標と目標値を設定した理由	子育て家庭の育児支援として、給付率を設定。								

令和2年度の実施方針	拡充して実施	活動量	増やす	コスト	上げる	成果	上げる
	ガイドブック、子育て用品等の継続配布とファミリーサポート提供会員養成講座の開催とPRの強化。						

